

教科書：大修館書店「古典B 古文編」「古典B 漢文編」

副教材：東京書籍「新精選古典文法」尚文出版「新明説漢文」浜島書店「増補版常用国語便覧」いっずな書店「みるみる覚える古文単語」「プログレス古文総演習 発展編」「プログレス漢文総演習 発展編」数研出版「国公立二次過去問選 古典編」尚文出版「古典共通テスト対策完答 24」

## 学習目標

本校の国語科の目標

- ①国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
- ②思考力や想像力を養い、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- ③国語に対する認識を深め、国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。

第6学年の目標

- ①自学（自ら学習）できる力をつける。
- ②古典に関する語彙力を身に付け、古典の世界観への理解を深める。
- ③大学入試問題の実践を通じ、文章の正確な読解力や論理的な説明力・記述力を身に付ける。
- ④知識・文法力を身に付ける。
- ⑤さまざまな古典の文章を読み、そこから価値を見つけ出す感性和好奇心・探究力を培う。

## 学習方法

- (1) 演習問題を解く（予習の場合も有り）。
- (2) 自分の解答を根拠とともに答える。
- (3) 解答の解説を受けながら、教員の発問に答える。
- (4) 学んだ内容について復習し、関連のある教材に取り組む。

## 評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと単元ごとに評価を行います。

|                             |                                                           |   |   |   |   |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------|---|---|---|---|
| 観点①<br>話すこと・聞くこと            | 自分の考えをまとめたり、深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしている。     |   |   |   |   |
| 観点②<br>書くこと                 | 自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、目的に応じ、筋道を立てて適切に文を書くことができている。         |   |   |   |   |
| 観点③<br>読むこと                 | 自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、目的に応じ、筋道を立てて様々な文章を的確に読み取っている。        |   |   |   |   |
| 観点④<br>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 国語や伝統的な言語文化への関心を深め、国語および伝統的な言語文化を尊重し、進んで理解・表現し伝え合おうとしている。 |   |   |   |   |
| 評価の方法\観点                    |                                                           | ① | ② | ③ | ④ |
| 授業状況観察                      |                                                           | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 課題などへの取り組みと提出状況             |                                                           |   | ◎ |   | ◎ |
| 小テスト（実践問題など）                |                                                           |   | ○ |   |   |
| 定期テスト、課題テストなど               |                                                           | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

## 学習内容

|             | 具体的な学習到達目標                                                                                     | 学習内容／教材                                                              | 特記事項・他 |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------|
| 1<br>学<br>期 | <b>古典</b><br>・助動詞・助詞の用法を理解し、正しく識別することができる。<br>・敬語から主語や目的語を正しく読み取ることができる。<br>・和歌の修辞を理解することができる。 | <b>古典</b><br>・発展的な内容の文章の読解<br>・問題演習<br>※教材については、各大学の過去問や副教材の演習問題を扱う。 |        |
| 2<br>学<br>期 | <b>古典</b><br>・実践的な演習問題に慣れるとともに、問いに対して的確に解答を導くことができる。                                           | <b>古典</b><br>・問題演習<br>※教材については、各大学の過去問や副教材の演習問題を扱う。                  |        |
| 3<br>学<br>期 | <b>古典</b><br>・実践的な演習問題に慣れるとともに、問いに対して的確に解答を導くことができる。                                           | <b>古典</b><br>・問題演習<br>※教材については、各大学の過去問や副教材の演習問題を扱う。                  |        |

### 学習のアドバイス

古文では、これまで身に付けてきた古文単語・古典文法・古典常識の知識を、漢文では・漢文語彙・句法・用字等の知識を総動員して、実践問題を繰り返し解いていこう。共通テストでは、問題文の複数素材（同話や同類の文章）や新傾向の設問（生徒の意見や教師の説明文、図など）の出題が予想される。そのため解答にこれまで以上に時間がかかることを想定し、いかに短時間で正解に辿り着けるかをいつも意識して取り組みたい。また、過去問に早めに目を通し、記述対策を並行して行うこと。

授業内で触れること以外にも、自ら積極的に古典に触れていくことを可能な限り進めてもらいたい。時間を有効活用し、バランスよく学習していくことが望ましい。